

第1回 西脇市教育振興基本計画検討策定委員会 議事趣旨

平成25年6月19日（水）9：30～11：30

生涯学習まちづくりセンター 会議室2

1 開会あいさつ 教 育 長

今日お集まりの皆様には後期の教育振興基本計画を策定いただき。本日は、前期の成果と課題を明らかにし、第2回目以降の方向性を明らかにしていく会である。次の5年に向けての基本計画策定をどのように進めていくか。

この5年間で、総合計画、男女共同参画、スポーツ振興、自治基本条例等、市のフレームが変わってきている。それを教育振興基本計画にどのように活かしていくか。

嬉しい成果も多くあった。「ソーシャルボンドマイプラン」や「子どもたちがつくるお弁当の日」がそうである。今後の5年間でさらに深化していくようにしていきたい。

課題としては、子どもたちの学力の向上があげられる。「学力向上80作戦」等の取組を進めていく。また、読書力の向上も大きな課題である。

2 趣旨説明 学校教育課長

3 委員紹介

4 委員長・副委員長の選出

開催要領に基づき、委員長に兵庫教育大学浅野先生が就任。副委員長には三崎教育長が就任。

5 資料説明 事 務 局

- (1) 西脇市教育振興基本計画（前期計画）について
- (2) 次期教育振興基本計画策定にあたって
- (3) 検証結果について

6 協 議

【防災教育について】

- (委 員 A) 防災教育の視点が市の計画には入っていないが、西脇市の防災教育はどうなっているのか。
- (学校教育課長) 防災教育については、県の施策の大きな柱として推進している。防災訓練等は、市内の学校では定着している状況である。地域との連携も、ほぼできているのではないか。市の基本計画でどこまで取り上げるかは検討しなければならない。
- (委 員 B) 年間3回の防災訓練はもちろんのこと、副読本を活用した授業も実施している。自然学校で淡路に行った時も、震災のことについて学習を行っている。
- (委 員 C) 中学校においても、防災訓練は危機管理という側面で年3回程度実施している。内容は、不審者対策、水害への対応、地震・火災などを想定して実施している。西脇北高校とも連携して実施したりもしている。
- (委 員 A) 地域との連携が進んでいないような気がするので発言した。アピールするなどして、より地域と連携した活動を進める必要があるのではないか。

【幼保一元化について】

- (委 員 A) 幼保一元化の方向性はどのあたりまで提示されているのか？
- (教育部長) 平成23年3月に幼保一元化の基本方針が策定され、学校園には何度か説明している。保育園の建替年次に合わせて10年間において幼保一元化を推進していくことにしている。建替年次が一番早い日野保育園については、地区に説明を行った。昨年、推進検討委員会を立ち上げ、検討を進めてきたが、平成24年8月に公布された子ども・子育て支援法で義務付けられた子ども・子育て支援事業計画策定の中に引き継いでいくことになった。
- (委 員 A) 幼保一元化の検討委員会を作ってほしいと提案してきた。10年間で市内すべての幼保一元化が完了するかといえば疑問である。そのような理由から、あえて質問した。
- (教 育 長) 結論としては、今述べた方向で市は実施していくということである。優先順位をつけて実施していく。西脇市の幼稚園教育のあり方について、国のフレームを導入することは難しいため、弾力的運用ができるよう国や県と折衝している。

【満足度による評価について】

- (委員 A) 数値の内容は提示されているが、満足度などは評価しているのか？
- (中央公民館長) 子育てや高齢者大学の関係では、アンケートを実施し参加者の満足度を集約している。
- (教育長) 回数よりも内容の充実度を図るべきであると考えている。人権教育室が実施しているような評価方法が適切であると考えている。評価項目が適切であるかも検討していかなければならない。

【読書習慣の育成について】

- (委員 A) 読書の習慣について、学校で朝の読書は今でも実施されているのか？
- (学校教育課長) 朝の読書については、ほとんどの学校で実施されている。それに加えて、家読（うちどく）を推進している学校も増えてきている。
- (委員 C) 各中学校も朝の時間帯に読書活動を実施している。小中学校と連携しながら、読書習慣の育成を図っている。

【目標値が変わった理由について】

- (委員長) 目標値が変わっている項目があるが、それはどういう理由か？
- (教育長) 数年前から教育委員会の事務事業評価を実施している。その中で目標値は毎年見直すべきであるとされている。したがって、目標値が変わっている場合が生じている。

【子どもの学力状況等について】

- (委員長) 西脇市における子どもの学力状況はどうなっているか。また、子どもたちの社会規範意識等はどうか？
- (教育長) 結果については公表しないということになっているので、詳しいことは言えないが、前に向いて進んでいるという実感を持っている。言語活動を重視した授業改善の実施や、ICTの条件整備などに取り組んできた効果が出ているのではないか。子どもの生活習慣を含めた、授業への向き合い方が影響しているのではないか。特に、中学生の学力状況は上位にある。
- 子どもたちの規範意識については、非常に安定していると感じている。小中学校の連携を推進する中で成果が上がっているのではないか。

【ポイントを絞った目標を】

- (委員 D) 本当にこの計画の内容が学校現場に浸透しているか、を検証しなければならない。総花的な内容ではどうしてもそうになってしまう。「基本の技 一生の宝」としてお箸の持ち方や鉛筆の正しい持ち方を推進しているが、このようにこの基本計画のポイントはこれなんだ、と決めて実施していく必要があるのではないか。
- (委員 E) お箸の持ち方でいえば、幼児期から遊びを通して身につけることができるように、様々な取組を進めている。草引きが筆圧の強化にもつながっているようだ。

【学校教育で重要なことについて】

- (委員 F) 学校に苦情が多くある。それは、本校に対する期待の大きさの表れだろうと思っている。このような地域なので、どんどん学校に情報を教えてほしいとお願いするとともに、地域の方に子どもたちとどんどん関わっていただければありがたい。何でもかんでも学校が請け負うということではいけないのではないか。そのあたり、仕分けが必要なのではないか。
- もう一点、西脇の子どもたちであれば「絶対にこのことは知っている」「このことは大切にしている」というものを育てていくことも必要ではないか。
- (委員 A) お箸の持ち方やあいさつ等は、学校でやるべきことなのか。それは家庭の課題である。保護者を含めて議論していくことが重要である。そのような方向でこの計画は作成すべきではないか。

【西脇市の教育基本計画について】

- (委員 長) 西脇の教育基本計画は、非常に言葉の使い方がうまいと感じる。それに加えて、保護者に対するメッセージ性があればもっとよいものになるのではないか。

7 諸連絡・今後の予定について

次回会議は、9月4日（水） 午前9時30分から開催することを確認。

8 閉 会

